

豊かなひとときをくれる
木の温もりのある我が家

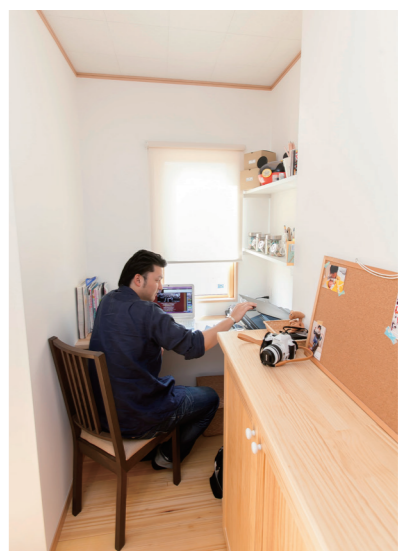


明るく広々としたリビングダイニング。
インテリアはモミの木の床の風合いに合わせ、ナチュラルな雰囲気に揃えています。

「Kさん」夫婦がモミの木の家と出会ったのは、2014年夏。お子さんを家の中でも気兼ねなく伸び伸びと遊ばせたいというのが、アパート住まいから一軒家への家づくりを考え、たきかけでした。最初のころは「モダンな雰囲気、洋風の家」など、見た目重視でモデルハウスを見て回りましたが、モミの木の家に出合ってから、木の温もりのある家が我が家の第一条件になりました」とK主人。部屋に広がるモミの木の香りや裸足で触れた時のさらりと心地よい感触、そしてモミの木の家について話すスタッフの人柄にも惹かれたことが契約の決め手だったそうです。

打ち合わせでは自分たちの希望や思いが設計図になって出来上がって来るのが毎回楽しみだったそう。Kさんは生活の中で感じた収納や間取りの使い勝手や希望を細かくメモして新居に生かしました。2015年3月に引き渡し。モミの木の家に合った家具やインテリアを揃え、「ようやく我が家の実感が湧いた」と振り返ります。今は「以前より家で過ごす時間が増えました。DGHでコーヒーも美味しく入れられるので豆から自分で楽しむようになりました」と新居での暮らしを楽しんでいる様子が伝わってきました。

次世代の住まい
CASE 45
宮城県大河原町
Kさんの家
取材日/2015年10月



リビングの一角にありながら独立した空間を確保したパソコンスペース。

K様夫婦との出会いは、昨年6月の展示場への「来場」でした。初めは「だいたい警戒されていた」様子でしたが、建築予定地が私の自宅のすぐ近くと分かり、会話が弾み、モミの木の床とスピンオフ塗壁にとても興味を持って頂きました。K様のお父様には土地の件で何度も現場に足を運んで頂き、お陰様でお話しがスムーズに進みました。K様夫婦は、色々とこだわりをお持ちだったので、設計担当と共に打合せを重ね、お二人の希望に添えるよう努力しました。当時のお住まいから建築現場まで距離がありましたので、足を運ばれるのが大変だったと思いますが、現場打合せがある際は積極的に参加して頂き、有難うございました。完成したお家は、想像以上の広さとなり、K様にとっても喜んで頂けたことを大変嬉しく思います。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

担当より一言

営業
山家



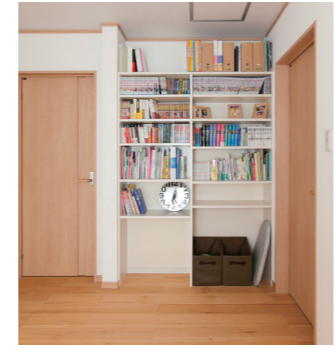
お子さんが乳幼児の時期や、泊まりのお客様のときなどにも使い勝手のいい和室。フロアに段差を設けることでリビングとの空間にアクセントを付けました。



オープンキッチンなのでリビングから見える食器棚も木材にこだわりました。奥さまこだわりのパントリーは収納力抜群です。



乱雑になりがちな洗面・脱衣所には可動式の収納棚を壁一面に。これも奥さまのアイデア。



ファミリースペースにも大きな本棚を作りました。それぞれが本を入れて家族みんなで使う家庭文庫です。



2階の各部屋の中心のファミリースペース。将来的にはテレビやゲーム、読書などセカンドリビングとして活用する予定。

モミの木の床のお手入れについて、水拭きするとモミの木の香りが立ち上がってきて、モミの木が生きていて喜んでいそうな気がするんです。ちょっと面倒ですけどね」と顔を見合せて笑うお二人。感性豊かな言葉に取り素材スタッフもほっこり温かな気持ちになりました。



CASE45:宮城県大河原町 Kさんのお宅
族構成:ご主人、奥さま、ご長男、ご次男
延べ床面積約37坪 4LDK+小屋裏収納
こだわり設備:モミの木の床、スピンオフ



2階から固定階段で上がる小屋裏収納。季節のものなどの収納にはもちろんですが、「秘密基地みたいでぜひ欲しかった」とご主人。奥さまはここで趣味のジグソーパズルを楽しんでいます。



将来の勉強部屋を今はトレーニングルームとして使っています。



↑ファミリールームには雨の日や外出のときに便利な室内物干しを設置。モミの木とスピンオフの調湿・消臭効果で室内干しの匂いも出ません。

